



がくじ



摂南大学図書館報

No. 82

2006.4

学而時習之、不亦説好乎。(「論語」より)

- 学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずや -

* 題字は王羲之の書による

新入生の皆さんへ

工学部電気電子工学科 教授

やま だ すます
山 田 澄

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新学期を迎え在学生の皆さんも新入生の皆さんも、心も新たに希望と期待に大きく胸をふくらませておられるものと思います。2005年度は摂南大学30周年記念の年に当たり各種の行事がありましたが、図書館長であった私にとって最大の出来事はなんと言っても情報メディアセンターが建設されたことです。このセンターは摂南大学のこれまでの建物とはひと味違う趣と充実した設備を備え、摂南大学の新しい顔となることは間違いありません。その地下1階から3階までが新しい図書館となり、面積だけでも従来の1.7倍というゆとりの空間を持っています。これまで7号館にあった図書館には空間的なゆとりが無く、何かにつけて窮屈な思いをされてきたことと思いますが、これからはゆっくりとソファーに腰掛けて瞑想にふけることも可能になりました。これまでぎゅうぎゅう詰めに並べられていた図書が程良く書架に整理され、特定の目的をもって集められた図書のコーナーも整然としかも余裕をもって並んでいます。皆さんになじみのある文庫本の書架をはじめとして、ベストセラーコーナー、旅行ガイドコーナー、就職図書コーナー、あるいは専門科目の入門書を集めた入門書コーナーなど多くのコーナーの中で、摂南大学の図書館にはちょっと聞き慣れないタイトルのコーナーがあります。それは「フマーニオール (humanior) コーナー」です。このコーナーには、より豊かな人間性を築きより深く広い心を養い育てる手がかりになるとされる作品が選ばれています。図書館のホームページにも説明がありますが、「humanior」はラテン語の「humanus」の比較級で、「より人間的な」という意味だそう

です。また、「humanus」は英語の「human」つまり「人間的な」という言葉の語源です。このコーナーを提唱された第五代図書館長 かみの けいいちろう 神野 慧一郎先生は、「このコーナーが未来を背負う若い皆さんの「こころ」を育てる土壌となり、成長を促進する光や雨や風を与えるものであることを期待する。」と述べておられます。是非このコーナーにも立ち寄ってみてください。図書館では、話題の新刊書やベストセラーなど皆さんが早く読みたいと思われる図書を定期的に購入し、新着図書として一カ所に集めて貸し出しています。新着図書については「図書館新着案内」を作成して学内数十個所に掲示してありますので是非ご覧下さい。

図書館は必要な図書や情報を手に入れるために利用するものと思われるかもしれませんが、時には宝探しでもするような気軽な気持ちで図書館に立ち寄ってみては如何でしょうか。私は自宅の近くにある大学生協の書籍部によく立ち寄ることがあります。専門書はもちろんですが、その時々話題の本や、参考書、教科書、解説書、How-toものなど、興味を引く本を次々見てまわっている内に1時間や2時間は直ぐに過ぎてします。本屋に立ち寄る面白さは、ちょっと目に留まった本を手にとってぱらぱら眺めていて思わぬ発見や驚きを感じる事がよくあることです。皆さんも図書館で探している本の周りの物も手に取ってみては如何でしょうか。思わぬ発見があるかもしれません。もしあなたが読みたいと思った本が図書館にないときには、躊躇せず学生希望図書購入制度を利用して下さい。

(前図書館長)

CONTENTS

| | |
|------------------------|-------|
| 新入生の皆さんへ (山田 澄) | 1 |
| 教員から新入生へ「図書館のおすすめ」 ... | 2・3・4 |
| 新図書館の案内 | 4・5・6 |

| | |
|------------------------|---|
| 図書館で読める新聞・軽雑誌の紹介 | 7 |
| INFORMATION | 8 |



教員から新入生へ…「図書館のおすすめ」

図書館と価値創造



工学部建築学科 教授 安田 孝

かなり以前に、文化の否定性という本を読んだことがある。文化人類学の青木保さんの著書で、強い感銘を受けた。文化という言葉に、特に関心があったのではない。ご自分の専門を否定的に考えているかも、と気になった。私だけではないと思うが、日本では文化の日が祝日であったりして、文化とは良いもの尊重すべきものという意識があり、それを否定しているかもと思った。しかも、それを専門的に研究している方がである。

文化という言葉には、多くの意味があり、人によって定義が異なるとも聞いた記憶があった。ある人の著書でそれを、物の文化、制度の文化、価値の文化に分けられると読んで、とつぜん納得してしまった。これは自分の生きている世界を取り巻くすべてだ、と思ったのである。物の文化とは目に見える物理的な世界、制度の文化とは法律や組織などの取り決めのすべて、価値とは人それぞれが有している重要性の序列とその社会的集合、とでも言えようか。

現代社会は情報社会とも呼ばれて、毎日悲惨な事件が報道されている。本を読み、人と話すことは、意識しなくても自分の価値の世界を作ることであろう。文化の対立が不幸を招いているとすれば、その解決に役立つ読書や対話であって欲しいと思っている。

「古代エジプト・アレキサンドリア図書館への道」



外国語学部 助教授 浅野 英一

4月より、4人の現役ゼミ生・ゼミ卒業生が青年海外協力隊員として世界の各地で活躍している。

その中の1人が、新アレキサンドリア図書館があるエジプトの地に2年間も滞在できることが羨ましい。新図書館は、女王クレオパトラ時代に破壊された古代図書館跡から東に数百メートルの所に建っている。アレキサンドリアはヘレニズム世界の中心的存在で古代アレキサンドリア図書館は、プトレマイオス一世（紀元前300年頃）によって世界各地の文献の収集を目的として建設された世界最古・最大の公共図書館で、多くの思想家や作家の作品を収蔵（70万点の巻物、書籍）した知の宝庫であった。当時は、現在のようなコピー機はなくコピーは写本よって作られた。古代アレキサンドリア図書館の利用は無料だったそうだが、蔵書を写本するためには、別の本を一冊寄贈しなければならず、この方法で、所蔵量が増えたのに違いない。古代図書館と蔵書は焼失してしまったが、世界各地に広がった蔵書のコピー（写本）が、有名なロゼッタストーン（石碑）の碑文解明の一助になったと聞く。「時は金なり」の時代に住む我々にとって、写本しなければならない手間を必要としない現代の図書館はありがたい。

知らない人は損をする！ 知ってる人は得をし続ける。



経営情報学部経営情報学科 助教授 牧野 幸志

大学の図書館には得する情報がたくさんあります。高校までの図書室のように、「本が置いてあるところ」、「自習するところ」だけではありません。まずは、ベストセラーの最新刊を読むことができます。「バカの壁」から「ハリー Potter と炎のゴブレット」までほとんどのベストセラーが入荷しています。もちろん、大学3年生にもなれば専門書も読まなければなりません。各学部によって専門書はさまざまですが、共通しているのは値段が非常に高いということです。そんなときに図書館を覗いてみると、図書館に既に入っているこ

ともよくあります。賢い人は図書館の本を利用しています。

「本はあんまり読まない」という人にも図書館は十分利用する価値のあるところです。たとえば、若者の多くは映画やDVDをみます。たいていの人は映画館に行くか、それがめんどくさいときにはDVDが出るのを待ってレンタルするでしょう。そんな人はまだまだ甘いのです。図書館の中に視聴覚室というものがあります。ここでは最新DVDを無料で見ることができるのです。たとえば、「キル・ビル 1・2」、「デイ・アフター・トゥモロー」、「冬のソナタ」など。私の知っている学生は、授業の空き時間になると視聴覚室で映画を見ています。さらに、図書館には新聞や雑誌も置いてあります。よく「新聞はとっていない!」と威張っている学生がいますが、そんな学生も図書館に行けば全国4誌を読むことができますね。現代のような情報化社会だからこそ、図書館利用についても知らない人は損をしてしまいます。賢い皆さんは図書館を利用して得をしましょう。

「こころざし」を もてる生き方を



法学部 教授 榎原 義比古

この度、ご入学された皆さんは摂南大学への入学希望者の中から選りすぐられた人たちであります。それだけに教員の1人として皆さんに期待するところ、大なるものがあります。入学早々ですが、大学の四年間は長いようで実は短い。大学生生活のスタートにあたり、今一度、自分の足もとをかため、自分の目標をしっかりと見定めてほしい。

かつて一世を風靡した、喜劇俳優のチャールズ・チャップリンは、映画「ライムライト」の中で、「人生に必要なのは、勇気と想像力とほんの少しのお金だよ」と優しくささやくように若者達へメッセージを送っています。彼は、何事も「こころざし」をもって努力すればたとえ今は貧しくても、きっと成功するだろうと訴えたかったのであります。

これを皆さん方について言えば、一人ひとりの学生が「こころざし」をもって、一つの学部、ゼ

ミ、クラブなどに参加し、人と接する中で自分自身をいかに磨き高めうるか、これがこれからの基本テーマであります。

しかし今、フリーターという生き方は別としても、ニートとか、何事にも積極的に挑戦しない若者が増えており、「平和で豊かな社会」という時代背景があります。何の「こころざし」もなく、漫然と過ごせば、それこそ、「時の過ぎゆくままに」になってしまう。

これからの四年間で自分の決めた「こころざし」をより所に、さらに個性や能力に磨きをかけ、それを社会の中へどう生かしていくかを考えていただきたいと思います。その個性や能力を伸ばそうとする時に最も重要な鍵となるのが、物事の本質を見極める自分自身の目を養うことであり、そのために問題意識をもつことである。そのためにも「知」の宝庫である本学図書館を大いに活用していただきたい。もし皆さんに問題意識が微塵もなければ、その人はいかに努力を重ねようと、あまり伸びることはないであろう。私もまだまだ修行が足りませんが、以上のことは、私の体験的な結論でもあります。祈健勝。

図書館の多様性



薬学部衛生薬学科 助手 邑田 裕子

大学に入学してレポート、試験勉強、就職活動などで図書館を利用することは頻繁にあると思われる。少し突飛に感じられるかもしれないが、薬用植物園（植物園）と図書館の関係を少し述べてみたいと思う。

植物園にはいろいろな形態があるが、概ね、生植物、植物標本、図書から成り立っている。生植物そのものが展示されているわけだが、その植物に咲いた花、出来た果実などは証拠標本として作製される。押し葉標本は生植物に比べて、植物としては死んでいるが、研究や教育の利用価値の面ではずっと寿命が長く、管理が良ければ数百年は大丈夫である。さらに生植物や標本に基づいて描かれた植物画の寿命はさらに長く数百年から千年も超える。この植物画そのものやそれに記載など

を付けたりして、図鑑や植物志が編纂され、図書として図書館に収蔵される。植物の名前を調べたり、正しいラテン名（万国共通の名前）を調べたり、形態の記載について調べたり、薬としての利用を調べたりと図書とは切っても切れない関係にある。と言うわけで最近図書館には必要に迫られていくということがもっぱらである。

インターネットでの検索が容易に出来る今「なんで図書館？」と思う人も多く大学のレポートもそれで間に合うと思う人も多いことと思うが、内容を掘り下げていこうとする時、両輪であることは自ずと判ってくると思う。私が図書館に行くときの楽しみは、自分が目指している本を探しなが

ら、他の本の背表紙を眺め、時にはちょっと開いて内容を見たり読んだりすることである。背表紙を含め本の装丁や紙質などには独特の雰囲気があり、ましてその本が年数の経た本であったりしたら、それを眺めるだけでも楽しい物である。是非皆さんにも目的とする以外の本があることを知っていただき、図書館の多様な種類の本にも時には目を向けて頂いて、卒業してからも各地で図書館を訪ねて欲しいと思う。



新図書館OPEN!

2006年4月寝屋川キャンパスに情報メディアセンター（10号館）が完成し地下1階から3階までが新しい図書館としてOPENしました。

フロア面積が約1.7倍近くになり館内には専用エレベーターも設置されています。

一部の閲覧室からはインターネット（ノートパソコン持込み）に接続できます。また、3階に設置されるプチシアトル（AVホール）は席数120で大型スクリーンを設置し各種研究会、講演会、上映会など多目的に利用できるホールとなっています。

1階入り口には、BDS（ブックディテクションシステム・貸出手続確認装置）が設置されており手荷物を持ったまま入館できます。退館時に貸出手続きを忘れないようにしてください。ゲートが開きません。

1階はマルチメディアフロアになっています。DVD等視聴用ブースが25台設置され、外部情報検索用のパソコンが10台設置されています。

2階は普通図書フロアになっており、貸出手続きはすべて1Fメインカウンターで行います。

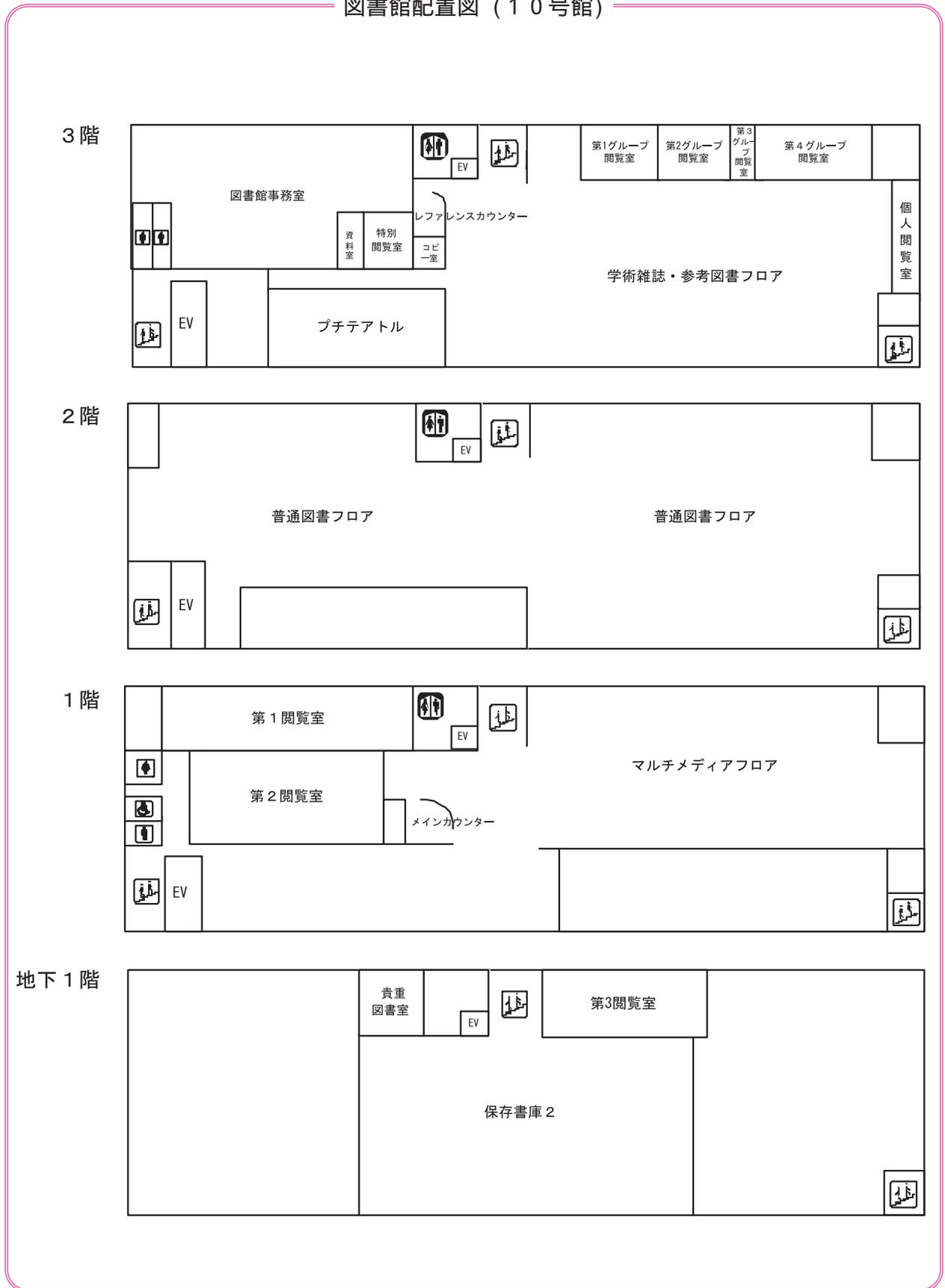
3階は学術雑誌・参考図書フロアになっています。レファレンスカウンターがありますので、参考文献の紹介・学外図書館の利用などはこちらで相談してください。また、コピー室がありますので必要な資料は著作権を遵守してコピーしてください。

地下1階は電動集密書庫になっており開架式で1993年からの学術雑誌のバックナンバーが配架されています。また、インドネシア学地域研究コレクションも配架されています。

閲覧室はグループ閲覧室、個人閲覧室、夜10時まで開室している第1・第2閲覧室があり様々な学習形態に対応しています。インターネット接続も可能です。

詳細は、1階・3階カウンターに設置の「[Library Guide](#)」をご覧ください。

図書館配置図 (10号館)





(図書館 入口)



(ブックディテクションシステム BDS)



(1階 外部情報検索コーナー)



(1階 AV視聴コーナー)



(2階 普通図書フロア)



(3階 学術雑誌・参考図書フロア)



図書館で読める新聞・軽雑誌の紹介

本館 分館 本館・分館

| 新聞 | | |
|-----------------------------|-------------------|-------------------|
| | 日経PC21 | 新潮 |
| 朝日新聞 | 日経Win PC | 文藝 |
| 毎日新聞 | DOS/V MAGAZINE | すばる |
| 読売新聞 | INTERNET MAGAZINE | BE-PAL |
| 産経新聞 | LOGIN | オレンジページ |
| 日本経済新聞 | デイリータイムス/スーパーゴルフ | SMART |
| 日刊工業新聞 | 月刊ニューポリシー | MEN'S NONNO |
| FUJI SANKEI BUSINESS i | Volo | Savvy |
| 日経産業新聞 | 日経サイエンス | J.J |
| デイリー・スポーツ | NEWTON | n o n n o |
| スポーツニッポン | ナショナルジオグラフィック日本版 | スポーツグラフィック NUMBER |
| 日刊スポーツ | 税経セミナー | ダ・ヴィンチ |
| 中国新聞 | 新聞ダイジェスト | 週刊ベースボール |
| 電気新聞 | ARTICLE | 週刊サッカーマガジン |
| 環境新聞 | BIG TOMORROW | T A R Z A N |
| 科学新聞 | ENGLISH JOURNAL | 月刊 スキージャーナル |
| 薬事日報 | NHKラジオ「ビジネス英会話」 | アサヒカメラ |
| 教育学術新聞 | NHKテレビ「テレビで留学」 | スクリーン |
| 日本教育新聞 | 留学ジャーナル | 旅 |
| 留学生新聞 | 週刊ダイヤモンド | 山と溪谷 |
| 図書新聞 | 週刊 東洋経済 | オートバイ |
| 出版ダイジェスト | プレジデント | MOTOR MAGAZINE |
| 週刊 読書人 | 経済セミナー | CAR GRAPHIC |
| 週刊 ST | 月刊 消費者情報 | |
| The wallstreet journal Asia | 切り抜き速報 教育版 | 音楽の友 |
| Herald Tribune Asahi | 思想 | 就職ジャーナル |
| The Japan times | 会社四季報 CD-ROM | 調剤と情報 |
| The Newyork times | JTB時刻表 | 大学と学生 |
| The Nikkei weekly | 関西版 ザ・テレビジョン | 栄養と料理 |
| 東亜日報 | 関西ウォーカー | 暮らしの手帖 |
| 人民日報 | 週刊 金曜日 | Lマガジン |
| 中国時報 | サンデー毎日 | 毎日ライフ |
| 中文導報 | 週刊朝日 | PharmaNext |
| COMPAS with BOLA | NEWS WEEK 日本版 | POPEYE |
| La jordana | AERA | ルポラン |
| 軽雑誌 | 芸術新潮 | ロードショウ |
| 合格情報処理 | 中央公論 | Skier |
| ASCII | 世界 | 趣味の園芸 |
| I/O | 論座 | 旅の手帖 |
| PC USER | 文藝春秋 | |

2005 年度休日開館入館者数

| 実施日 | 場所 | 本館 | 分館 |
|------------|----|-----|------|
| 7月10日(日) | | 35 | 336 |
| 7月17日(日) | | 128 | 544 |
| 7月18日(月・祝) | | 498 | 810 |
| 合計 | | 661 | 1690 |
| 前年度比 | | 58% | 98% |
| 1月8日(日) | | | 314 |
| 1月15日(日) | | | 492 |
| 1月22日(日) | | | 608 |
| 2月5日(日) | | 213 | |
| 合計 | | 213 | 1414 |
| 前年度比 | | 75% | 116% |

開館時間 10:30～16:50

2005年度の休日開館入館者数です。

分館は前期試験・後期試験期ともに前年並みの利用となりました。本館は入試の日程の関係で後期試験期には1日しか開館できませんでした。

4月からは寝屋川キャンパスの新しい図書館でも引き続き休日開館を行う予定です。

ぜひ、ご利用ください。

INFORMATION



2006年度ライブラリーツアー

今年も図書館恒例の「新入生対象ライブラリーツアー」を実施します。毎回30分程度、図書館員が図書館館内を案内します。今年は4月にオープンしたばかりの寝屋川キャンパス新図書館の設備を見学し機器の操作等を主に指導します。大学では図書館を利用せずに学習を進めることは困難です。ちょっとした資料探しのコツや施設の押さえどころなどもお話ししながら進行していきますので、ご入学の早い時点で図書館の達人になっておくことがこれからの4年間に差をつけます。ぜひ参加下さい!!

ツアー日時 4月 7日(金) 16:30
4月10日(月)～14日(金) 10:00 12:20 14:00
15:30

集合場所 10号館1階 図書館入口前

編集後記



新入生のみなさん入学おめでとうございます。4年間は自分に与えられた平等な時間です。経験するすべての事には意味があります。無駄なことなんてありません。自分のキャパシティを拡げていきましょう。(図書館がお役に立ちますよ。)

私事ですが、この号が最後です。

自分の痛みや苦しみは誰にもわかってもらえないものです。でも痛みや苦しみはどんな人にもあるものです。だから自分は、他人の痛みや苦しみをわかってあげられる人になりたい。といつも思っています。

まだまだですが。3年間言いたい放題の編集後記読んでいただいてありがとう!

(yuko kamamoto)

摂南大学図書館報「学而」 82 2006.4

編集・発行 摂南大学図書館 本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

枚方分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

印刷 サツキ印刷株式会社 〒572-0024 大阪府寝屋川市石津南町8-2 TEL.(072)828-0171